

平和環境…揺れる炎に思い



平和を考えながらキャンドルに火をともし参加者
 20日午後8時半、鹿児島市の中央公園

2公園でキャンドルナイト

20日夜、鹿児島市の2会場でそれぞれ開かれた「キャンドルナイト」。参加者らは、ろうそくの炎が揺らめく中、平和や地球温暖化

など、日ごろの自分たちの暮らしを振り返り、語り合った。中央公園の「キャンドルナイト1ピース」

には約70人が参加。キャンドル約270個を飾った会場で、キャンドルにともした「平和の火」をリレーし戦没者に祈りをささげた。県内の有志でつくる実行委員会が初めて開

いた。使った火は福岡県星野村に保存されている「原爆の残り火(平和の火)」を運んだ。絵本の読み聞かせや市内アマチュア歌手のライブもあった。上荒田町の大学生高

三樹さん(21)は「世界の貧困に苦しむ子供の話聞き考えさせられた。貴重な体験だった」と話した。みなど大通り公園であった「かごしまキャンドルナイト2009」は今年で5回目。ともしたキャンドル

は環境に配慮し、植物性の油で作られたものやリユース品を使用。並べた形で環境保護を訴えるメッセージなどを伝えた。午後8時には周辺の街灯が消され、キャンドル全体が浮かび上がった。手作り石けんやエコバック作りを通して、環境について考えるイベントもあった。揺れる明かり眺めていた福永彩香さん(19)は「同市田上6丁目」は「幻想的でとてもきれい。自分の家でもキャ